

選挙人名簿管理システムへの住基情報の連動処理

1. 目的 選挙システムへ住基情報を取得させるため、新たにホストコンピュータから、選挙サーバへデータを転送する必要性が生じた。当初&データマッチングによるものと、異動情報を処理するための仕組みを新たに構築。
住基データとの同期を図るため、登録時（定時・選挙時）においては、全住民データを作成し、名簿データとの比較後データの入れ替えを行うこととする。
2. 連動方法
 - (1)当初セットアップ&マッチング（定時・登録時用住基全件データの作成）
選挙人名簿に登録する住基情報を取得するため、一度オンラインデータをバッチ処理により取得し、そのデータを選挙人名簿管理サーバ（以下「選挙サーバ」）に転送する。
 - (2)住民異動データ
VISのAP間通信により作成された異動データをファールに蓄積し、端末操作によりそのデータを選挙サーバに転送する。
 - (2)データレイアウトの共通
住基全件データ及び異動データのレイアウトは共通とする。
3. 当初&マッチングデータの作成方法
 - (1)住民バッチ用データの作成
AJA31J_DISK&AJA32J_DISKのjobにより
AWM01（個人DB情報レコード）
AWM02（世帯DB情報レコード）
を作成する。
 - (2)転送用ファイルの作成
AJA33Jで転送用ファイルの作成
 - (3)ファイル転送
BE52WINを使いATSSのFILTRNでCSV形式で転送する。
 - (4)データロード
作成したCSVをサーバにロードする。
4. 異動データの作成方法
 - (1)準備
AJA200の異動処理期間を設定(FORM〜T0) し、AJA200_CMPでコンパイル。
ここで設定した期間はファイルに蓄積される。
 - (2)異動データの取得
BE52WINを使い、異動データ取得マクロを起動する。
自動的にCSVファイルが作成される。
 - (3)データロード
作成したCSVをサーバにロードする。
5. ファイルレイアウト
当初&マッチングデータと異動データのレコードレイアウトは共通とする。
6. 処理のタイミング
当初&マッチングデータの作成は、選挙時及び定時登録時の前に行う。
この処理は、新有権者の登録のタイミングと合わせる。
住民情報とのアンマッチ項目を調べ、最新の情報に入れ替える。
異動データはのタイミング
選挙時期間は日時処理とし、以外は月次処理とする。
7. 外字の取り扱い
住基情報の取得データ（全件及び異動データ）はunicodeを使用し、当該選挙システムにおいては、shift_jisに変換して格納する。
入場券委託データは、shift_jisからunicodeへ変換して外注する。
ただし、委託先ではホスト処理に戻すため当市ホスト外字を提供し対応する。

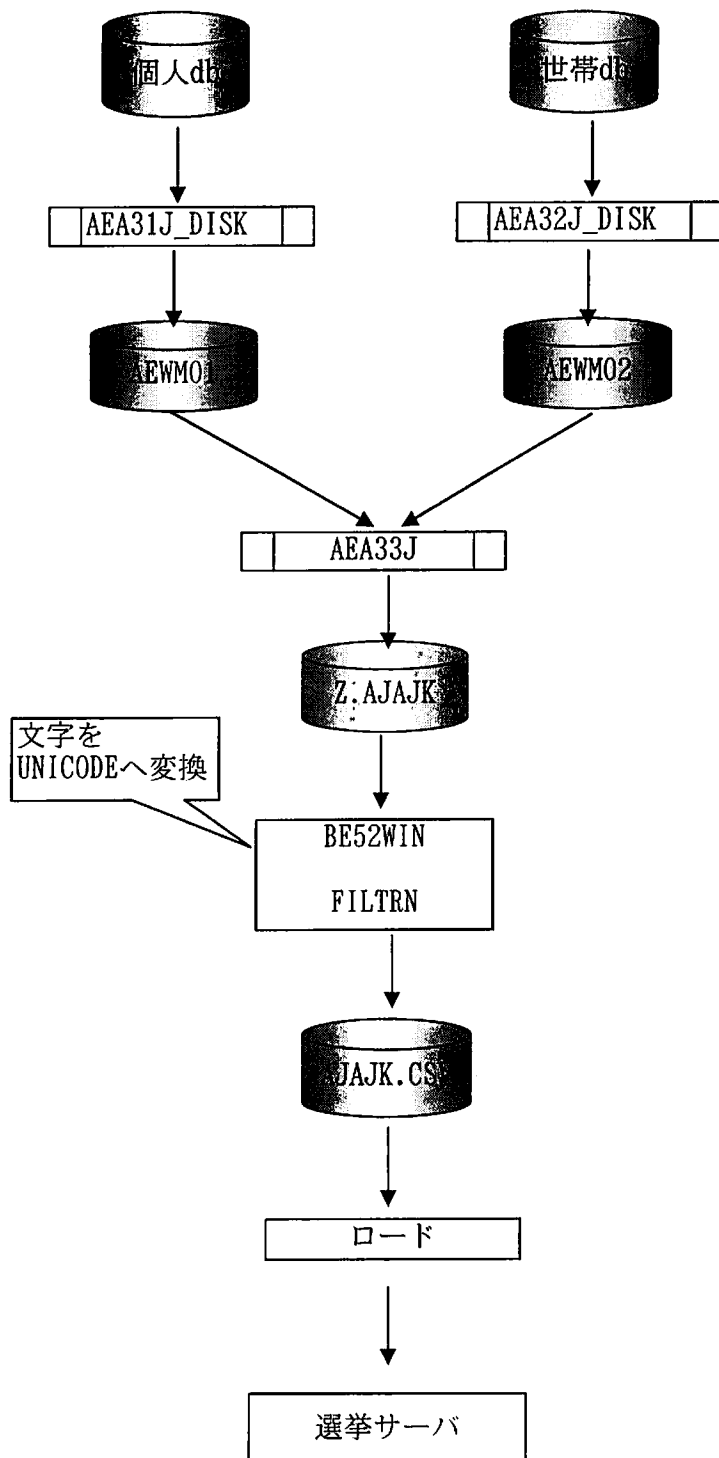
住民情報（個人）レコードレイアウト

No.	項目	属性（桁数等）	項目説明
1	SEQNO	COMP-1	シーケンシャルNo.
2	KOJINCD	X(7)	個人CD
3	STAICD	X(7)	世帯CD
4	OVERFLG	X(1)	オーバーフラグ
5	GAIFLG	X(1)	外字フラグ
6	SIMEIA	X(17)	カナ氏名
7	FLG	X(1)	
8	SIMEIK	N(15)	漢字氏名
9	SEX	X(1)	性別CD
10	ZOKUCD	X(6)	続柄CD
11	SORTKEY	X(6)	続柄ソートキー
12	TANJYO	X(7)	生年月日
13	JYUMIN	X(7)	住民年月日
14	FIL	X(2)	
15	KOKSHU	X(7)	国民健康保険
16	NENKIN-R	X(17)	年金
17	JIDO-UMU	X(1)	児童手当
18	FIL	X(10)	
19	HSIKUCD	X(5)	本籍市区町村CD
20	HAZACD	X(4)	本籍字CD
21	HJFIL	X(1)	
22	HJUSHO	N(30)	本籍地
23	HITTOK	N(15)	筆頭者
24	HASKBN	X(1)	発生区分
25	HASJIY	X(2)	発生事由
26	HASIDO	9(7)	発生異動日
27	HASTOD	9(7)	発生届出日
28	FIL	X(17)	
29	KAIBKN	X(1)	改製区分
30	KAIJIY	X(2)	改製事由
31	KAIIDO	9(7)	改製異動日
32	KAITOD	9(7)	改製届出日
33	JYOFLG1	X(1)	除票フラグ1
34	JYOFLG2	X(1)	除票フラグ2
35	JYOFLG3	X(1)	除票フラグ3
36	FIL	X(99)	
37	JTDBI	X(7)	住民届出日
38	SIMEIK2	N(20)	漢字氏名（20文字）
39	JMCD	X(12)	住民基本台帳CD
40	SAI-FLG	X(1)	再転入フラグ

住民情報（世帯）レコードレイアウト

No.	項目	属性（桁数等）	項目説明
1	SEQNO	COMP-1	シーケンシャルNo.
2	STAICD	X(7)	世帯CD
3	JYUSHO	X(12)	住所CD
4	FIL	X(3)	
5	OVERFLG	X(1)	オーバーフラグ
6	GAIFLG	X(1)	外字フラグ
7	AZAK	N(10)	町丁名
8	BANK	N(20)	番号・番地
9	KATAA	X(20)	カナ方書
10	KATAK	N(20)	漢字方書
11	NUSIA	X(18)	カナ世帯主
12	NUSIK	N(15)	漢字世帯主
13	FIL	X(12)	
14	HASKBN	X(1)	発生区分
15	HASJIY	X(2)	発生事由
16	HASIDO	9(7)	発生異動日
17	HASTOD	9(7)	発生届出日
18	FIL	X(17)	
19	KAIBN	X(1)	改製区分
20	KAIJIY	X(2)	改製事由
21	KAIIDO	9(7)	改製異動日
22	KAITOD	9(7)	改製届出日
23	FIL	X(139)	
24	S-CD	X(1)	支所管轄CD
25	KATAK2	N(30)	漢字方書（30文字）
26	FIL	X(25)	

住民マスターの作成（当初用&マッチング）



DBから個人及び世帯情報の
引き抜き

※月例処理により作成される。

個人&世帯情報のマッチング
（定時・選挙時に行う予定）

転送用ファイル作成

ホストエミュレータソフト

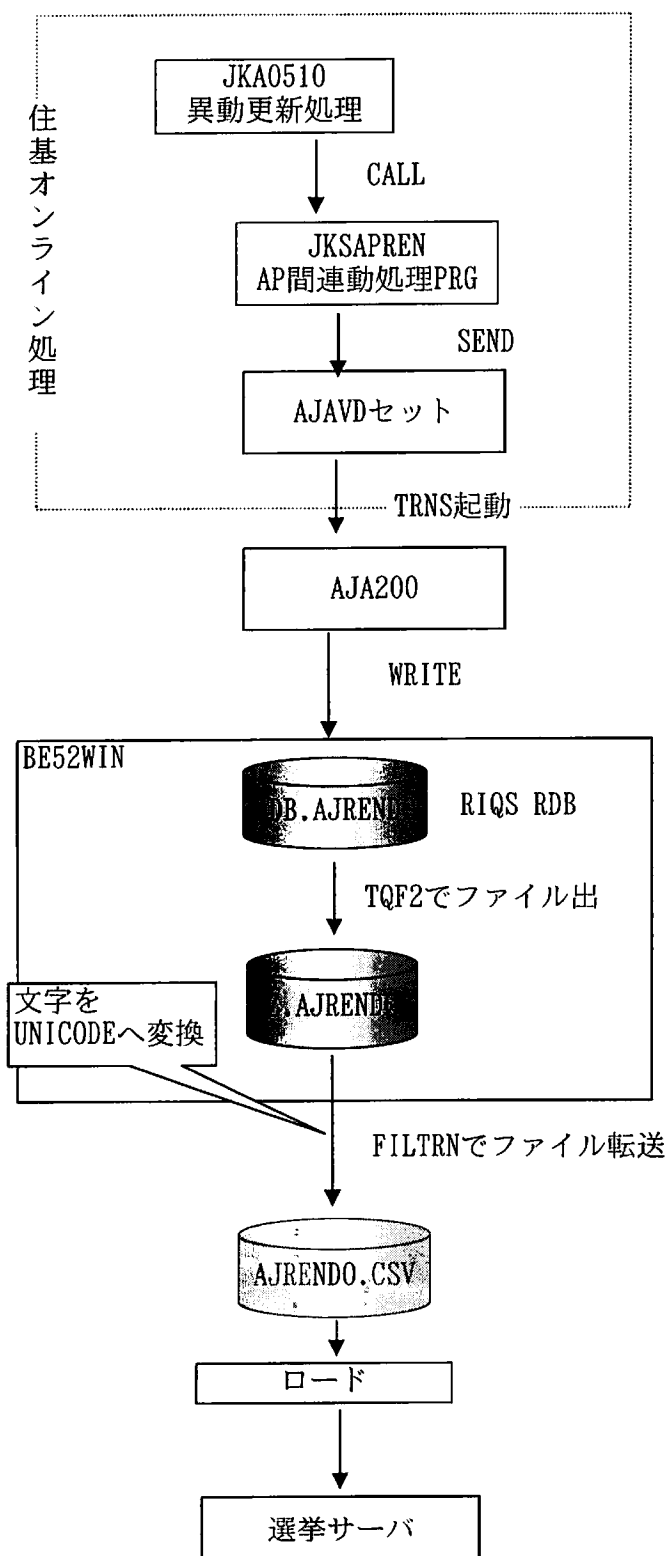
CSV作成処理

選挙住民情報マスタの作成

住民マスタの作成

選挙サーバに格納

住民異動情報ファイル作成



住基オンラインの異動処理

AP間連動処理プログラムにより選挙用VDへSENDする。

トランザクション型VDで、受側へ渡す。

受側のプログラム

異動情報をRDB.AJREND0へ書き込み。

TQF2を使い、異動対象レコードを抽出してZ.AJREND0ファイル書き込む。

異動対象レコードに1を立てる。

選挙異動情報ファイルの作成

サーバ処理用
選挙異動情報ファイルの作成。

選挙サーバに格納

選挙人名簿情報（住民情報）

No.	項目	属性	摘 要
1 *	日付/時刻	X(12)	日付=6、時間=6
2 *	区分	X(1)	0
3 *	郵便番号	X(7)	
4 *	住所CD	X(12)	町丁CD=4, 番号（番地）=4, 枝番（部屋番号）=4 12桁 住所順KEY
5 *	世帯CD	9(7)	7桁
6 *	個人CD	9(8)	8桁 7桁 + 1桁（チェックデジット）
7 *	氏名（カナ）	X(20)	
8 *	氏名（漢字）	N(20)	
9 *	続柄CD	X(6)	3世代管理
10 *	性別	X(1)	男=1, 女=2
11 *	外字FLG	X(1)	氏名（漢字）、住所
12 *	桁あふれFLG	X(1)	氏名（漢字）、住所
13 *	生年月日	X(7)	和暦元号は1,2,3 例：昭和33年11月4日は”3331104”
14 *	住所（漢字）	N(50)	住所 + ”△” + 方書
15 *	本籍自治体CD	X(5)	県別CD=2桁 自治体CD=3桁
16 *	本籍	N(30)	公選法11条該当者、検察審査会抽出処理で使用
17	異動日	X(7)	
18	転出先住所	N(50)	
19	転出先郵便番号	X(7)	
20	転出先住所CD	X(11)	県別CD=2桁 自治体CD=3桁 町名=3桁 丁目=3桁
21	転出先住所CD2	X(13)	番地・番号
22	異動事由	X(2)	
23 *	住民届出日	X(7)	転入届出日及び職権記載日
24	前住所	N(50)	市外住所（市内異動は除く）
25	前住所郵便番号	X(7)	
26	前住所CD	X(11)	県別CD=2桁 自治体CD=3桁 町名=3桁 丁目=3桁
27	前住所CD2	X(13)	番地・番号
28	再転入FLG	X(1)	

※「*」印は住民情報マッチングファイルで使用する項目。

外字ファイルの取り扱い

文字コードは、ユニコードを使用する。

名簿管理、不在者等の選挙システム上は、Shift_jisを使用し、印字等のペーパーには、ユニコードに変換し対応。

ユニコードとする理由

- ・ 外字エリアが大きく、当市の外字数で対応が可能となっている。
- ・ ユニコードは、Windows2000では、OSでサポートしているため特別な設定は必要なく、他のビジネスソフトでも使用できる。
- ・ メーカー外字の場合文字制約により1社に絞られ業者間の競争によるコストダウンに結びつかない。

メンテナンス

市民課で管理しているため、必要な時に外字ファイルを更新することで対応。

更新時期

住記ネットの関係もあり、外字ファイルは随時更新されている。

現状

入場券の作成委託を行っている。

外字ファイルは、ユニコード外字ではなくホスト外字を提供。

委託業者の方で、入場券作成時に未作成文字が検出された場合は引き抜き指示により対応。

データ連携のシステム処理内容と既定レイアウトの当初分、異動分の項目に誤りがありましたので訂正の上、修正後の議事録の送信をお願いします。

転入と同様に、職権で住民票が作成される者についても、転入と同様に考えていただきて良いと思います。修正関係については、システム上でどのように対応するかが見えていないので何とも言えませんが、職権修正、置換修正、戸籍異動についても、転居と同じ？ではないでしょうか？

データ連携の件

CODE	事 由	処理形態(川口市)	システム処理内容
新規関係			
01	転 入	一般の転入	転入
01	大量転入	同一住所への大量転入	転入
02	見届転入	前住所が未届の転入	転入
07	住所不明	前住所が不明の転入	転入
03	出 生	選挙人には直接関係なし	未処理
04	職権記載		記載(転入に準じる)★
05	転出取消		転出取消
06	職権回復		職権回復
08	帰 化	日本人として住民票に記載	記載(転入に準じる)★
09	国籍取得	新たに日本国籍を取得	記載(転入に準じる)★
修正関係			
21	転 居	市内住所異動	市内異動★
22	世主変更	世帯主の変更	未処理
23	世帯変更	世帯員の構成変更	未処理
24	世帯合併	別世帯が変更になる	未処理
25	世帯分離	世帯が別れる	未処理
32	戸籍異動	戸籍の届出により氏名、本籍、続柄事項が修正される	未処理
31	職権修正	住所の届出の間違い等職権による修正(主に現住所訂正)	上書き？(転出先住所の修正は無し)
38	置換修正	項目内容の上書き修正	上書き
抹消関係			
41	転 出	国内転出	県内・県外転出
42	国外転出	国外転出	国外転出
43	死 亡		死亡
44	職権消除		職権消除
45	国籍喪失	日本国籍が抹消される	職権消除
46	失踪宣告	死亡に準ずる	職権消除
37	転出修正	転出先を修正(日付も含む)	上書き
30	転入通知	転出先の市区町村に転入したことにより住所、異動日が確定する	上書き

既定レイアウト

No	項目	属性	摘 要	当初分	異動分
1	日付/時刻	X(12)	日付(西暦Right 2桁)=6、時間=6	*	*
2	区分	X(1)	'0' 固定	*	*
3	住所CD	X(12)	町丁CD=4、番号(番地)=4、(部屋番号)=4、12桁 住所順	*	*
4	世帯CD	9(7)	7桁	*	*
5	個人CD	9(8)	8桁 7桁+1桁(チェックデジット)	*	*
6	氏名(カナ)	X(20)		*	*
7	氏名(漢字)	N(20)		*	*
8	続柄CD	X(6)	3世代管理	*	*
9	性別	X(1)	男=1、女=2	*	*
10	未作成外	X(1)	氏名(漢字)、住所	*	*
11	桁あふれ	X(1)	氏名(漢字)、住所	*	*
12	生年月日	X(7)	和暦元号は1,2,3,4 例:昭和33年11月4日は"333110"	*	*
13	郵便番号	X(7)		*	*
14	住所(漢字)	N(50)	住所+" "(全角スペース)+方書	*	*

15	本籍自治体	X(5)	県別CD=2桁 自治体CD=3桁	*	*
16	本籍(住所)	N(30)	失権者(11条)、検察審査 で使用	*	*
17	異動日	X(7)			*
18	転出先住所	N(50)			*
19	転出先郵便	X(7)			*
20	転出先住所	X(11)			*
21	転出先住所	X(13)			*
22	異動事由	X(2)			*
23	住民届出	X(7)	転入及び、職権記載日	*	*
24	前住所	N(50)	市外住所(市内異動は除く)		*
25	前住所郵便	X(7)	※使用しない		*
26	前住所CD	X(11)	(2): 都道府県 (3): 市区町村 (3)+(3): 町丁CD (使用しない)		*
27	前住所CD	X(13)	※使用しない		*
28	再転入FL	X(1)			*

住基情報 異動事由一覧表

異動事由		処理形態
新規関係		
01	転入	一般の転入 同一住所への大量転入 前住所が未届の転入 前住所が不明の転入 選挙人には直接関係なし
01	大量転入	
02	未届転入	
07	住所不明	
03	出生	
04	職権記載	}
05	転出取消	
06	職権回復	
08	帰化	
09	国籍取得	
修正関係		
21	転居	市内住所異動
22	世主変更	世帯主の変更
23	世帯変更	世帯員の構成変更
24	世帯合併	別世帯が一緒になる
25	世帯分離	世帯が別れる
32	戸籍異動	戸籍の届出により氏名、本籍、続柄事項が修正される
31	職権修正	住所の届出の間違い等職権による修正(主に住所訂正)
38	置換修正	項目内容の上書き修正
抹消関係		
41	転出	国内転出
42	国外転出	国外転出
43	死亡	
44	職権消除	
45	国籍喪失	日本国籍が抹消される
46	失踪宣告	死亡に準ずる
37	転出修正	転出先を修正(日付も含む)
30	転入通知	転出先の市区町村に転入したことにより住所、異動日が確定する処理

上記以外の事由コードは選挙処理には関係しない。

続柄	
01	世帯主
02	国外転出
03	死亡
04	職権消除
05	国籍喪失
10	子
11	子(子の夫)
12	子(子の妻)
30	父
31	母
32	兄
33	姉
34	弟
35	妹
70	縁故者
80	同居人

選挙人名簿情報（住民情報）

No.	項目	属性	摘 要
1	日付/時刻	X(12)	日付=6、時間=6
2	区分	X(1)	0
3 *	住所CD	X(12)	町丁CD=4, 番号（番地）=4, 枝番（部屋番号）=4 12桁 住所順KEY
4 *	世帯CD	9(7)	7桁
5 *	個人CD	9(8)	8桁 7桁 + 1桁（チェックデジット）
6 *	氏名（カナ）	X(20)	
7 *	氏名（漢字）	N(20)	
8 *	続柄CD	X(6)	3世代管理
9 *	性別	X(1)	男=1, 女=2
10 *	外字FLG	X(1)	氏名（漢字）、住所
11 *	桁あふれFLG	X(1)	氏名（漢字）、住所
12 *	生年月日	X(7)	和暦元号は1,2,3 例：昭和33年11月4日は”3331104”
13 *	住所（漢字）	N(50)	住所 + ”△” + 方書
14	本籍自治体CD	X(5)	県別CD=2桁 自治体CD=3桁
15	本籍	N(30)	公選法11条該当者、検察審査会抽出処理で使用
16	異動日	X(7)	
17	転出先住所	N(50)	
18	転出先郵便番号	X(7)	
19	転出先住所CD	X(11)	
20	転出先住所CD2	X(13)	
21	異動事由	X(2)	
22 *	住民届出日	X(7)	転入届出日及び職権記載日
23	前住所	N(50)	市外住所（市内異動は除く）
24	前住所郵便番号	X(7)	
25	前住所CD	X(11)	
26	前住所CD2	X(13)	
27	再転入FLG	X(1)	

※「*」印は住民情報マッチングファイルで使用する項目。